

## 6. 陸上昆虫類等調査結果の概要

## 6. 陸上昆虫類等調査結果の概要

### (1) 確認種数

今回とりまとめを行った26河川で確認された陸上昆虫類等は、22目485科7237種です。

### (2) 特定種の確認種数 (資料II.6.1)

今回とりまとめを行った26河川で確認された特定種は、レッドデータブック絶滅危惧種、レッドリスト絶滅危惧I類のヒヌマイトトンボ等全部で51種でした。特定種の確認種数が多かった河川は、北陸地方の阿賀野川の13種、関東地方の利根川と九州地方の川内川の11種等でした。

#### (注) 特定種の選定基準について

本資料においては、次のものを特定種としています。

- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種及び緊急指定種
- ・環境庁編(1991)「日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—」掲載種
- ・環境庁編(1976)「緑の国勢調査(第1回自然環境保全調査)」における「すぐれた自然の調査」主要野生動物一覧の掲載種
- ・環境庁編(1982)「緑の国勢調査(第2回自然環境保全基礎調査)」における「日本の重要な昆虫類」指標昆虫類
- ・環境庁編(2000)「レッドリスト」掲載種

### (3) 外来種の確認種数 (資料II.6.2)

今回とりまとめを行った26河川で確認された外来種は、53種でした。外来種の確認種数が多かった河川は、関東地方の利根川、中部地方の豊川、四国地方の吉野川、九州地方の遠賀川の19種等でした。地方別では九州地方の35種が最多で、最少は北海道地方の6種でした。

#### (注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種は、おおよそ明治以降に侵入したと考えられる国外由来の動植物とし、侵入後に日本で定着した種であるか否かは、判断が困難な種があるため考慮していません。また、外来種の選定は、資料I.5(42~43ページ)に示した文献及び学識経験者の意見により行っています。

### (4) ヒヌマイトトンボの確認された地域 (資料II.6.3)

確認状況の概要は、14ページに示すとおりです。

### (5) アオマツムシ、シバツトガ、アメリカミズアブの確認された地域 (資料II.6.3)

確認状況の概要は、21ページに示すとおりです。

### (6) ブタクサハムシの確認された地域 (資料II.6.3)

確認状況の概要は、21~22ページに示すとおりです。

(7) ヒヌマイトトンボ、アオマツムシ、シバツトガ、アメリカミズアブ、ブタクサハムシの確認状況の経年比較 (資料II.6.4)

確認状況の概要は、14、21～22ページに示すとおりです。